



仕 様	
種類 / 型式	合併処理 / AXN-30
処 理 方 法	担体流動循環方式
処理対象人員	30 人
一人当り汚水量	0.2 m ³ /人・日
計画汚水量	6.0 m ³ /日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
除 去 率	90 %以上
流入水COD濃度	100 mg/L
放流水COD濃度	30 mg/L
除 去 率	70 %以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
除 去 率	56 %以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
除 去 率	91 %以上
有 効 容 量 m ³	
夾雑物除去槽	3.395
嫌気ろ床槽	3.380
担体流動槽	1.542
沈 殿 槽	0.737
消 毒 槽	0.078
電 気 機 器 仕 様	
送風機	200L/分 (0.02MPa)
	100V, 175/185W, 1台

特記事項						
使用材料	コンクリート	FC＝21－18（15）－20（25） 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC＝18N/mm ²				
	鉄筋	SD295A（規格品） 特記なき事項はJASS5による。				
配筋事項	継ぎ手・定着長さ	全て40dとする				
＊砕石厚サの条件（本図は砕石100mmとする）						
地 盤	土 質	岩盤・土丹	砂礫・砂	シルト・粘土・ローム		
	N 値	N≧10	N<10	N≧10	N<2	N≧2
地 業 (砕石)	種 別	地はだ	砂利	砂利	砂利	砂利
	厚さ (mm)	100	100	60	150	60
地耐力	必要地耐力	50kN/㎡（想定）				
その他	・積雪1m以下の場所に設置して下さい。					
	・浄化槽の重量に耐える地盤に設置して下さい。					
	・地下水位に応じて浮上防止をして下さい。					
	・流入管底を越える湧水が想定される場合は、基礎スラブの長さ、幅を各100mmずつ広げて施工して下さい。					
	・かさ上げは300mmを超えないようにして下さい。					
	・製品全高は±10mmの公差があります。					
	・流入放流管底は、製品全高に対して±10mmの公差があります。					
	・ブロワースは確実に接地して下さい（D種接地工事）					
・かさ上げ		300 mm付。				
・無荷重仕様						

